

平成 24 年 4 月社名変更(平成 22 年 5 月作成)

テバ製薬株式会社

学術情報課

### 粉碎物の安定性評価

品目：オブランゼ錠 20

検体：990595

検体	性状	定量 <sup>※1)</sup> (%)
試験開始時(粉碎直後)	白色の粉末であった	100
40℃ 2週間 (遮光、PE 包装)	白色の粉末であった	98.4
40℃ 2週間 (遮光、PE 包装)	白色の粉末であった	97.6
25℃ 75%RH 2週間 (遮光、PE 包装)	白色の粉末であった	100.0
25℃ 75%RH 2週間 (遮光、PE 包装)	白色の粉末であった	100.0
光 60 万 lx・hr(PE 包装)	微黄白色の粉末であった	96.8

※1) 試験開始を 100 とした残存率で示した。

#### 結論

粉碎状態での安定性試験(性状、定量)を実施した。その結果、光 60 万 lx・hr 保存において、性状変化及び若干の含量低下(規格内)を認めた。これにより、本品を粉碎後、やむを得ず保存する場合には、光を避けて保存することが望ましい。また、本品は腸溶剤であるため、経管チューブを腸まで伸ばして投与する必要がある。

なお、本製剤を粉碎して投与した場合の有効性および薬物体内動態の検討は実施していない。また、上記データは本製剤の分割・粉碎を推奨するものではない。